

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名 一般国道34号 <small>おおむら</small> 大村拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																													
起終点 自：長崎県大村市杭出津一丁目 <small>おおむらしくいでつ</small> 至：長崎県大村市久原二丁目 <small>おおむらしくばら</small>	延長 3.7km																														
事業概要 大村拡幅は国道34号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上等を目的とした事業である。																															
H3年度事業化	H2年度都市計画決定 (H一年度変更)	H9年度用地着手																													
H11年度工事着手																															
全体事業費 約147億円	事業進捗率 約98% <small>(平成31年3月末時点)</small>	供用済延長 3.2km																													
計画交通量 38,400～50,500台/日																															
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">1.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.8		(残事業)	3.8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(残事業)/事業全体</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">4.7/234億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">3.5/216億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">1.1/17億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/事業全体	4.7/234億円		(事業費)	3.5/216億円		(維持管理費)	1.1/17億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(残事業)/事業全体</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">18/412億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">14/388億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">2.9/20億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">0.78/3.7億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/事業全体	18/412億円		(走行時間短縮便益)	14/388億円		(走行経費減少便益)	2.9/20億円		(交通事故減少便益)	0.78/3.7億円	基準年 令和元年
B/C	(事業全体)	1.8																													
	(残事業)	3.8																													
総費用	(残事業)/事業全体	4.7/234億円																													
	(事業費)	3.5/216億円																													
	(維持管理費)	1.1/17億円																													
総便益	(残事業)/事業全体	18/412億円																													
	(走行時間短縮便益)	14/388億円																													
	(走行経費減少便益)	2.9/20億円																													
	(交通事故減少便益)	0.78/3.7億円																													
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.6～1.9（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.8～1.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.8～1.8（事業期間±20%）																															
【残事業】交通量：B/C=3.5～4.2（交通量 ±10%） 事業費：B/C=3.6～4.1（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=3.7～4.0（事業期間±20%）																															
事業の効果等																															
①地域の発展 ・大村拡幅区間の整備とともに人口集中地区が拡大、商業施設等が多数立地している。事業中区間の整備により、利便性が向上し、更なる地域の発展が期待される。																															
②交通混雑の緩和・交通安全性の向上 ・追突事故が多く発生している事業中区間について、事業中区間の整備により円滑な流動が確保され、交通混雑の緩和、交通安全性の向上が期待される。																															
③生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）																															
関係する地方公共団体等の意見 大村市をはじめとする議会、商工会等で構成される「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会（会長：大村市長）」により早期整備の要望を受けている。（令和元年7月）																															
県の意見 一般国道34号は、東彼杵町から大村市を經由して長崎市に至る本県の大動脈であり、県内の経済・文化活動および市民生活を支える上で重要な路線です。 このうち、当該事業の開通区間においては、整備が進むにつれ渋滞の緩和など効果が現れておりますが、事業中区間においては、交通量が一日4万台を超え道路の交通容量を大きく上回っている状況であり、交通混雑に起因する事故の危険性も高くなっています。 このような状況であることから、「対応方針(原案)」のとおり事業を継続し、早期の完成に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。																															
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。																															

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

大村市の人口は増加傾向にあり、一世帯あたりの自動車保有台数も長崎県や九州全体に比べ多く、自動車交通への依存度は高い。

国道34号（4車線区間）の交通量も増加傾向であり、依然として、事業の必要性は高い。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成3年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率約98%（平成31年3月末時点）

平成14年度：市役所前交差点～大村高前交差点	延長0.5km（4/4）	開通
平成20年度：大村高前交差点～玖島中入口交差点	延長0.5km（4/4）	開通
平成20年度：主水町交差点～市役所前交差点	延長1.0km（4/4）	開通
平成21年度：玖島中入口交差点～国立医療センター入口交差点	延長0.3km（4/4）	開通
平成22年度：国立医療センター入口交差点～久原2丁目交差点	延長0.2km（4/4）	開通
平成23年度：久原2丁目交差点～与崎交差点	延長0.7km（4/4）	開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

橋台工事仮設工の見直し、路床改良工の追加、杭出津橋上部工形式の見直し
 新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。